



福岡市育成会だより

第163号

発行所 社会福祉法人 福岡市手をつなぐ育成会

〒810-0062 福岡市中央区荒戸3丁目3-39 福岡市市民福祉プラザ4階
TEL.092-713-1480

この会報は、
共同募金の配分を
受けて作成した
ものです。



ありがとうございました

2011年の東日本大震災をはじめとして熊本、北海道の大地震また、地元福岡県、岡山県、広島県、佐賀県などで発生した大雨や土砂災害など、この五年ほどをとつても多くの人が避難所生活を余儀なくされるような大規模な災害が頻発しています。これは地球温暖化のなせる業なのでしょうか。

わたくし自身が「防災」について特に勉強したわけではなく、またこれまで60数年生きてきて、幸いなことに公私ともに大きな災害を経験することもなく過ごしてきました。「ボーッと生きているじゃねーよ！」と某テレビ局の5歳の女の子に叱られそうな状態です。災害はいつ起きるか分かりません。この際、いくつかの課題を取り上げて改めて皆さんとともに学んでみたいと思います。

福祉避難所について

福祉避難所とは、災害対策基本法に位置づけされていて、障がいのある人や高齢者、乳幼児を連れた人や妊娠している女性など(要配慮者)の利用を想定した避難所のことです。実務的には要配慮者として入所施設の利用までの必要性がない人を対象としている傾向があります。入所施設の利用が必要な

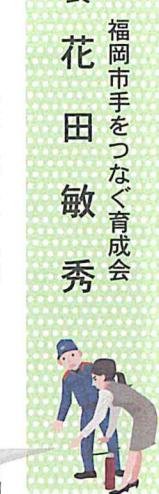
人は緊急入所、緊急ショートステイによる対応が基本となります。それぞれの自治体で作成されているハザードマップや避難所の場所等について確認しましょう。

個人情報の取扱いと防災について

民生委員さんや自治会等地域のお世話をしている役員さんから、個人情報の保護の問題からお世話をしつぶくなつたとの話を伺うことがあります。実際に東日本大震災の際、個人情報の保護を名目に、障害者情報の提供を拒んだ市町村が少なからずありました。そこで2013年に災害対策基本法が改正されました。その概要是次のとおりです。①避難行動要支援者名簿の作成を市区町村に義務付けるとともに、その作成に際し必要な個人情報を用意すること②避難行動要支援者本人の同意を得て、平常時から消防機関や民生委員等の避難支援等関係者に情報提供すること③現に災害が発生、または発生のおそれが生じた場合には、本人の同意の有無に関わらず、名簿情報を避難支援等関係者その他の者に提供できること④名簿情報の提供を受けた者に守秘義務を課すとともに、市区町村に

防災について

社会福祉法人
福岡市手をつなぐ育成会
理事長 花田敏秀



ため必要な措置を講ずること
一番大切な防災対策は

支援を求める力をつけること、支援力の向上だとされています。自分の家が無事で隣が被災した時「お手伝いしましようか」と声をかけるのは案外たやすいことなのですが逆に自分が困っているときに「助けてください」というのはとても勇気がいることです。難しいことですが「助けてほしい」とSOSを出すのを受援力というそうです。これが災害の時には大事だとされています。そしてこの受援力をつけるためには当事者・保護者が地域の防災訓練などに積極的に参加して顔を覚えてもらうことが大事です。これらの障がいを地域の人に知られたくない、隠しておきたいという気持ちは今でもよく耳にします。我が国の障がい福祉の現状からその気持ちが分からなくなはないのですが、こと大規模な災害に関してはこれが致命的になる可能性が高いと思われます。地域から孤立することなく、自ら壁を作ることなく日頃から交流を持つていることが一番の防災対策となると思います。これからもいつしょに防災について学んでいきたいと思います。



事業所の災害(水害想定)への対策について

ひまわりパーク六本松 施設長 今林 映一

近年、台風のほか大雨による大き

な被害が九州北部をはじめ全国で発生しており、いつ当事業所の活動中にも起る可能性は否定できません。

そこで、当事業所では、水害を想定した「垂直避難訓練」を次のとおり実施しました。

●当事業所の置かれた状況

中央区六本松にあり、利用者は約30名通所し、職員は10名の事業所。鉄骨鉄筋コンクリート11階建ての1階にあり、2階以上は事務室や居室もあります。事業所も2階に居室を1室確保しています。この地域は平成21年7月の豪雨の際に近隣が浸水しましたが、その後桶井川の河川改修も行われており、近年、浸水被害はありません。

令和元年7月11日(木)13時25分～
13時40分
被害の想定は「桶井川が氾濫し、まもなく水があふれる。」との職員の声によつて2階への垂直避難訓練を実施しました。全員が2階ロビーへの避難完了に要した時間は3分3秒でした。

●利用者の状況

あらかじめ、7月に訓練を行うことと、また、事業所内に避難先、避難経路を掲示しているため、大多数の方はスムーズに移動できていました。一部の方は一人では動けず、職員の同行によつて、ようやく動くことができた方もいました。緊急の際には速やかな避難行動が求められますが、身の回りの片付けを始めようとする方もいました。

何より早めの情報収集と早めの判断が大事と思われました。利用者は定期的な火災等の避難訓練を通して、慣れていた面もあり、移動には抵抗感が少なかつたようです。一人での歩行が可能な方、介助が必要な方、速やかに移動しない、できないための声かけなどが必要な方など様々です。利用者の誘導にあたつては一人ひとりに応じた職員の誘導体制が必要であることが明らかになりました。

●今後に向けて

当事業所としては、台風を始め風水害に對しては気象台、福岡市等の情報収集に努め、早めの判断が求められます。また誘導にあたつては円滑な避難に向けた職員の役割分担を明確にする必要があります。

今後とも、火災訓練、水害想定の訓練を適宜行うことで、スムーズな移動や事業所のさらなる安全確保に取り組んでいきたいと考えます。

●実施日時及び実施方法

●今回の避難訓練の目的

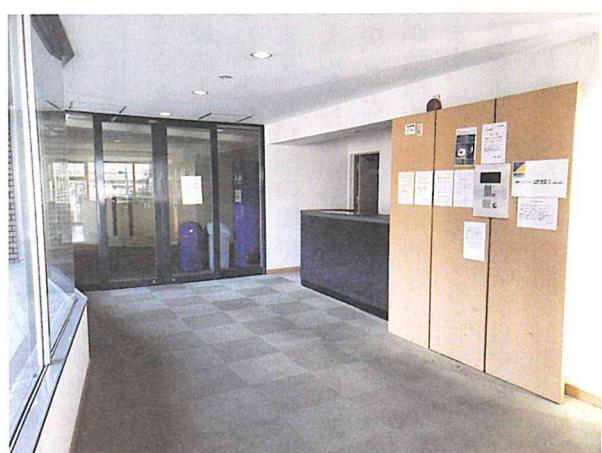
近年の集中豪雨の発生を考慮すると、事業所の活動中にも突然の事業所への浸水被害を想定する場面もあるため、2階ロビーへの避難行動を円滑に行う目的で実施しました。

●職員の行動

今回は、職員にも実施日や役割等をあらかじめ知らせず実施したため、誘導方法、緊急連絡網や医務用品・着替え等の持ち出しなどを各自で判断し、実行しました。自主的な判断で概ね適切でしたが、役割分担など改善

すべき課題も明らかになりました。

●避難訓練実施後に確認したこと





グループホームの災害対策について

早良ひまわりハウス 竹内 巖

自然災害、その種類は多岐にわたりますが、近年は水害の多さが顕著になっています。平成24年九州北部豪雨、平成25年山口県土砂災害、平成26年広島土砂災害、平成27年鬼怒川堤防決壊、毎年日本のどこかで水害が発生しています。短時間での急変、長時間に渡る降雨等、予測が困難な中で起こっているのも特徴です。今年福岡で大雨と記録された日は、8月末までに7回、短時間局所的降雨は3回記録されています。

●豪雨に対する対応
グループホームは、西区2カ所、南区1カ所、早良区1カ所、合計4カ所あります。住宅街2カ所（西区、南区）、県住宅供給公社の団地1カ所（西区）、もう1カ所（早良区）は田園や山の近くです。

南区と西区の1カ所は近くに川もなく、直接の浸水被害というよりも2次の影響、帰宅困難や食事提供体制等への影響が想定されます。8月の大暴雨の際は、発生が出勤時刻に当たり、出立する時刻までに各職場との連絡、公共交通機関の状況把握、世

話人との連携を取り、限られた時間内で素早い対応が求められます。

早良区と西区の1カ所は、近くに川があります。早良区のグループホームは土砂災害警戒区域から100mと離れていません。建物のすぐ側を川が流れています。本川が合流する地点でもあります。昨年7月6日大雨の際は合流地点から氾濫し、道路が冠水しました。幸い浸水被害はありませんでしたが、自然の脅威の直ぐ側にいることを痛感しています。そ

のことを踏まえ8月の大暴雨の際は、土嚢を設置し対応に当たりました。幸い浸水被害はありませんが、自然の脅威の直ぐ側にいることを痛感しています。そこが課題だと感じています。歩行速度が緩やかな方や車椅子での避難の方、その際のルートはどこをとるのか。また避難先での支援をどう受けるのか、日頃から地域と連携を取ることが今後の課題であると思います。

●連絡体制

防災情報での避難準備等が発令された場合にまず各方面に連絡し事前に情報の共有をしていきます。連絡取る方は、グループホーム職員、仕事場の職員、世話人、ご家族等であり、一人一人異なります。各利用者の現在地がどこで、誰が最も近くにいるのか、その時

の状況に応じて連絡する順番や内容が決まります。連絡手段も携帯電話をお持ちの方もいればお持ちでない方もいます。日頃から様子を伺つておくことが大事だと感じています。

●今後の課題



このたび、8月と9月の九州北部での豪雨および千葉県を中心とした台風15号により、各地で人的被害及び家屋の倒壊・浸水等の甚大な被害を受けられた皆さんに謹んでお見舞申し上げます。

一日も早い復旧と被災された皆さまのご健康と生活再建を心よりお祈り申し上げます。本会では、激甚災害が指定されたこの度の豪雨により、甚大な被害を受けた育成会会員に対して生活支援、復興支援等のお役に立てていた全国手をつなぐ育成会連合会を通じて、被災された育成会会員にお届けいたします。皆さまの温かいご支援をよろしくお願ひいたします。

また、被災地に対する支援活動に充てるため、災害支援活動資金についても募集いたしました。今回の災害支援活動に限らず、今後の大規模自然災害が発生した場合における災害支援活動の準備資金としても充てる所存でありますので、併せてご協力いただきますようよろしくお願ひいたします。受付期間は、義援金と同様とさせていただきます。

義援金受付窓口
災害支援活動資金受付窓口
お問い合わせ先

社会福祉法人
福岡市手をつなぐ育成会
事務局

TEL:092-713-1480
FAX:092-715-3561

もし事故に遭つたら (緊急時の対応について)

育成会事務局

大演 浩文



7月下旬、育成会の障がいのあるご本人さんが、糸島市にて交通事故に巻き込まれました。自転車で駅まで向かう途中、トラックと本人の自転車が接触し、そのまま横転。肋骨を2本骨折し、顔に裂傷を負う大怪我を負いました。

トラックの運転手は、警察に通報することなく、自転車を荷台に積み、

近くの駅までご本人を運びました。その際に携帯電話を書いた連絡先のメモを渡されたのですが、後でその番号にかけると通じず、音信不通になっています。

●ご本人は、その後自転車に乗ることが出来ていません。

●警察は加害者を捜していますが、まだ見つかっていません。

こういう事案は許されるべきことではないことは言うまでもないです。が、障がいのあるご本人が自分の身を守ることができるように、周囲の方々にお手伝いをお願いしたいところです。状況判断が難しい場面に遭遇すると、誰でも混乱し普段とは違う行動をとってしまうことがあります。事業所等での避難訓練・ご家庭で

の避難場所の確認と同様に、定期的な通報訓練や危機の対応の実践など、繰り返し実施して身に着けることができるようのご支援していただけます。

①110番・119番に通報する。

②事業所・学校・家庭等に連絡する。

③周囲の人助けを求める。

これらの一連の流れを身に着けていたことをご支援ください。

そこで事務局で「緊急連絡カード」を作成しました。今後は皆さんにこのような形式での「カード」を持つていただき、有効活用していただくことを奨励いたします。

緊急連絡カード

カナ	性別	TEL
氏名	生年月日	年 月 日
血液型 A B AB O	RH	+
住所	〒 -	

緊急連絡先

カナ	続柄	TEL
氏名	住所	

職 場

名称	TEL
氏名	

医療情報

過去の病気	
治療中の病気	
常用薬	
アレルギー	

かかりつけの病院

名称	TEL
氏名	
名称	TEL
氏名	

員の方々など、現在行つてている緊急時の対応の方法などをお知らせいたします。

日本列島では、昨今自然災害あるいは人災が多発している状況であります。障がいのある皆様が、緊急時にスマートに対応できるようになることを切に願い、筆を置きます。



福岡市消費生活センターからのお知らせ

「見守り」と「気づき」で障がい者の消費者トラブルを防ごう

- ★障がいのある方、特に知的障がいや精神障がいのある方は知らない人とのコミュニケーションが得意ではなく、その場で的確な判断や対応が出来にくいことがあるため、悪質商法の被害に遭いやすい傾向があります。
- ★被害の早期発見、また被害を繰り返さないためにも、家族や周りの人は、日ごろから様子を気にかけ、生活の変化になるべく早く察知することが期待されます。障がいのある方の思いを大切にし、本人の意向に沿いながら支援しましょう。
- ★消費者トラブルで困っている様子に気づいたら、福岡市消費生活センターにご相談ください。
(消費者ホットライン188)

使用中に偽の警告表示！慌てて事業者に連絡しないで

- ★警告画面が表示されても、慌てて事業者に連絡したり、セキュリティソフトやサポート等の契約をしたりしないようにしましょう。
- ★事例のような警告画面は偽の表示である可能性が高いと考えられています。表示された警告画面が偽の表示と考えられる場合は画面を閉じましょう。
- ★「警告画面が偽かどうかの判断がつかない」「セキュリティソフト等を契約しインストールしてしまった」「警告画面が消えない」等の対処方法については、独立行政法人情報処理推進機構（IPA）のホームページを参考にしたり、情報セキュリティ安心相談窓口に相談したりしましょう。
- ★困ったときは、福岡市消費生活センターにご相談ください。
(消費者ホットライン188：お住まいの地域の消費生活センターへ繋がります)

**出火することも！電気コードの取扱いに注意**

- ★電気製品の電気コードが傷ついた状態で使用を続けると、異常発熱や発火の原因となるおそれがあります。ふだんの何気ない使い方が思わぬ火災につながることがありますので、注意しましょう。
- ★電気コードが家具等の下敷きになっていないか、折れ曲がったり挟まったりして傷ついていないかを確認しましょう。
- ★コードの部分を引っ張ると内部で断線するおそれがあります。差し込みプラグをコンセントから抜くときは、コードではなくプラグ本体を持って抜きましょう。
- ★電気コードを束ねたり、ねじれたりしたままの状態で使用しないようにしましょう。
- ★困ったときは、福岡市消費生活センターにご相談ください。
(消費者ホットライン188：お住まいの地域の消費生活センターへ繋がります)

**慌てないで！災害後の住宅修理トラブル**

- 豪雨や台風など自然災害による被害で、住宅の修理等が必要な場合でも、慌てずに複数の事業者から見積もりを取ったり、周囲に相談したりした上で慎重に契約しましょう。
- 安心して依頼できる事業者について、日ごろから情報を集めておくことも大切です。
- 自然災害が起きた後は、住宅修理や便乗商法などの様々な相談が寄せられます。
- ★困ったときは、福岡市消費生活センターにご相談ください。
(消費者ホットライン188：お住まいの地域の消費生活センターへ繋がります)



保護者会だより

**障がいのある本人たちの
思いや日常を聴いてください**

会長 下山 いわ子

令和元年8月24日(土)、ふくふくプラザ6階601研修室で開催し、90名近くの参加者がありました。昭和53年から始めた知的障がいのある人の思いを聞く機会です。

保護者からは「うちの子は知的障がいがあるから思いを話すなんて無理」と思つてた。けれど発表を聞くと、いろいろ考へてることにびっくりしたし、うちの子はしゃべれないと、もしかしたら、あんな風ないけど、と思つていてるのかもしれない」と考へた」という感想があります。

発表者は、「緊張したけど、発表できてうれしかった」、発表を聞いた障がいのある仲間たちは、「次は私が発表したい」と話しかけてくれました。

昨年度発表者の野中さんから、卓球で優勝する、と昨年宣言したこと、が有言実行となり、優勝した報告や、

山博光、野中綾人、平原田美子、松田祐一、山本和子
準備委員(敬称略)・牛丸健児、富

福岡市なかまの会(障がいのある本人たちの本人部会)の会長の山崎さんから、本人部会の活動紹介もありました。

発表全文を掲載していますので、知的障がいのある人の思いや暮らしへを感じてください。

毎年開催しますので、来年度は、ぜひ、生の声を聴きにいらしてください。

書かれており、そこからも伝わるものがあります。

本人の声を私たちには聴きつ放しではなく、思いを実現するように運動していきます。

多くの方に障がいのあるみんなを応援してほしいと思います。

令和元年度 「本人の声を聴く会」を開催

私の好きなこと

高木 伸司

私の好きなことは西鉄バス福岡市内路線図(特に都心部)を見ることです。平成30年3月にはたらいていた福岡市動物園のなかまから西鉄バス福岡市内路線図をもらいました。

さいしょはホーム(神屋町)から動物園までのバスに乗るために路線図を見てバス停の数を数えていましたが、路線図を広げるたびにきょうみがわいてきました。

路線図は福岡都心部の地図です。路線図を広げて、自分のきょうみがある天神からしゅっぱつする、ろせん番号や、バス停の名前をおぼえました。

福岡市内の西鉄バスのバス停は約2000あります。上り下りがあるのでおなじ名前がついているバス停めいがあるので、それでも約1200のバス停めいがあり、福岡都心部では約200のバス停があります。約200のぜんぶのバス停めいをおぼえることはできませんが、歩くことも好きな私は、神屋町の自分のホームから博多ふ頭、中央ふ頭まで歩いて行き、バス停のなまえを確認しながら歩きました。

私がおぼえたバス停めいと同じ名前のバス停めいでうれしかつたです。約1時間ぐらいかけて、歩きました。

みなさんも路線図を見てバスに乗っているきぶんをたのしませんか?

製菓班お仕事

ひまわり園 市田 瑞貴

ひまわり園の製菓班には、たくさんのお仕事があります。ざいりょうの計量、のう品準備、ばんじゅうふき、プライスカード切り、洗い物、チョコロール並べ、ティービス並べ、ジャムしぶり、ラッピング、ティービス丸め、ポロンラズベリー丸め、ココアクッキー成形、ボイゲルかたぬき並べなどです。

私は、ラッピング、プライスカード切りが好きです。ラッピングでは、シリカゲル入れ、エージレス入れ、ケーキ、クッキー入れ、テープどめをします。プライスカード切りは、たくさんしゅるいがあるので、仕分けもします。

製菓班以外のお仕事には、ひまわりショップもあります。ショップは、月2回入ります。せつきやく、プリントおり、れんらく帳づくり、スタンプおしななどをします。ショップはとてもたのしみです。製菓班は、いそがしいけど、とっても楽しいです。

これからも、製菓班で、がんばります。



母のこと

ひまわりパーク六本松 吉岡 美香

私は今、ひとり暮らしをしています。一人暮らしを始めて3年目です。さいしょは、不安でさみしかつたです。みんなは、かえったら親がいるのに、自分はかえっても親がないので、さみしいなあと思っていました。でもなれてくれるといつても、一人暮らしもいいなと思っています。母と一緒に住んでいた時は、母にあわせることが多かったけど、今は出かけたいときに出かけられるし、食べたいときに食べられるし自由だからです。月よう日と木よう日は、ヘルパーさんがそうじに入ってくれます。水よう日と金よう日は、ヘルパーさんが料理に入ってくれます。たまに、兄が私のようすを見に来てくれます。料理は、そうざいですませることもあるけど、土日はたまに自分で作ります。一人暮らしになる前に、母がすのもの・おなべ・すきやき・シチュー・スープなどの作り方を教えてくれました。

母は、3年前からグループホームに入っています。お盆とお正月には、家にかえって来ます。何かあつたらいいけないので、母がかえって来る日は、兄が家に泊まってくれます。土よう日と日よう日は、グループホームにいる母にあいに行っています。行くと母はよろこんでいろいろな話をします。兄のことやめいっこのことを聞いたりします。買い物に行って何か買ってくると母はよろこびます。イオンでぬいぐるみを買ってきたり、つくしんぼまつりでプレスレットを買ってきたりすると喜びます。私が作ったブローチを三つも買ってくれました。よろこんで洋服につけています。たん生日や母の日には、一緒にお食事をします。

母のことで心配なことがあります。母は何度も同じことを聞いてくることがあります。きれいな時もあるけど、母の前ではきれないで家できます。認知がひどくなつた時、グループホームの人のめいわくをかけるのではと心配になります。どういう風に、母にあたつてもらうんだろうと不安になります。自分もどういう風にあたればいいのか不安になります。テレビで認知症の特集があると見て勉強しています。車イスのおばあちゃんがいるのを見ると、母も足もとがフラフラしているので不安になります。

私がグループホームからかえる時、母は、「今度いつ来ると。」と聞きます。土よう日の時は、「明日来るよ。」と言うと安心します。でも、このごろは、「休日余暇とかあるなら、無理して来なくていいよ。」と言います。グループホームに大分なれてきたのかなと思い安心します。

僕のこと

春日 雄三

僕は、九州西濃運輸のお仕事がんばっています。仕分けをしたり、から台車を集めたりとか、東区の到着の荷物を、引っぱったりとか、しています。

時間は、朝7時から、昼の3時までがんばっていますけど、さいきんひまな日が多くて、早く帰らされています。

お休みの時は、ひらめきクラブの妙安寺の活動や、毎月第3日曜日よかよかクラブの活動の時、福岡天神や、博多駅ミスターードーナツ前集合場所まで、1人で行ったり、家でゆっくり休んでいます。

健康のために、スポーツ水泳をしています。プールの場所は、火曜日障害者スポーツセンターと、木曜日は、春日クローバープラザに毎月行って運動しています。

毎週日曜日に、外食は、川久保食堂に、家族で行きます。食事代は、僕が出します。2・3か月に1回、居酒屋及なかに、お母さんと兄夫婦と、知り合いで夫婦と行っています。

グループホームに入ったのは2015年平成27年4月に、入居しました。洗たくは、だいぶんなれて来ました。食堂で、最きんテレビ番組スポーツバラエティ番のゲストやスポーツタレント芸人と女子バレーの解説、元日本代表する人を勝手に決められてほしいとものすごく気にしすぎています。

部屋の中で、ろく画した番組のロンドンオリンピック銅メダル女子バレーや、昔のプロ野球選手の金田正一が出て来たスポーツ番組と、昔の芸人、ハナ肇とクレージーキャッツの番組とザ・ドリフターズ荒井注さんの映画を見ています。

私の伝えたいこと

山崎 順子

私の仕事は、ひまわりパーク上牟田移動班で公園の清掃をしています。天神中央公園・海浜公園・博多区の公園5ヵ所を清掃しています。天神中央公園の掃除はゴミ拾い・トイレ清掃・ベンチ拭き清掃をしています。ゴミはコンビニの袋や弁当、タバコの吸い殻もよく落ちています。イベントの時はイベントのスタッフの人達が早く来るので清掃を早目にやります。トイレ掃除は洗面台、便器、床、壁拭きをしてきれいにしています。沢山のゴミが出ることあるので大変です。海浜公園は福岡タワーの近くの百道浜海浜公園とマリナタウン海浜公園の松林の中をゴミ拾いしています。冷泉公園・山王公園・吉塚緑地・明治公園・藤田公園・清流公園の清掃をしています。ゴミ回収が中心ですが、春や秋には落ち葉掃きをやります。それと冷泉公園と清流は除草作業をするので、7月や8月の暑い季節は水分をしっかりととりながら作業を頑張っています。夏は暑いので長く歩いていると日差しが強くて汗が止まりません。冬も寒くて風が冷たく上着を何枚も着て仕事をしています。手が思うように動かなくなります。最近は体の調子に気を付けて早めに眠ったりしています。しっかりと仕事を頑張ることができるようにならうと思います。

わたしのたのしみなこと

有馬 純輝

まいとし、ほうじょうやがかいさいされているのでいってみたい。ほうじょうやで、さんさくすること。やたいでやきとりとぎょうざとからあげかってたべたい。

おうちにかえるときに、とこやさんにいってます。とこやはたのしみにしてあります。とこやさんにみじかくきてスポーツがりにしてもらうことをおねがいしています。かみとひげそりとシャンプーをするときかみがぱさつくことがある。

ひまわりのさとではたけさぎょうにちょうせんしてみたい。はたけさぎょうで、やってみたいことはしゅうかくしてみたい。むかし、トマト、ピーマン、じゃがいもをとったことがあります。はたけさぎょうでいちばんすきなことはくさとります。しごとでおかねをかせいでまんがほんをかいたいです。たのしみをとおしてしせいかつをがんばりたいです。

第6回 全国手をつなぐ育成会連合会 全国大会熊本大会のご案内

併催 第59回九州地区手をつなぐ育成会熊本大会
九州地区事業所協議会九州大会
2019年度熊本県手をつなぐ育成会大会



大会スローガン

「一人ひとりを認め合う社会の実現」～熊本のこころを全国に～

本人大会スローガン

「助け合い 励ましあって つなごうばい」

■期 日／2019年11月23日(祝)～24日(日)

■場 所／熊本城ホール(熊本市中央区桜町3-13)

大会スケジュール

11月23日(土)受付9:30

10:30～12:00 分科会・
本人分科会
12:00～13:00 昼食
13:00～16:00 分科会・
本人分科会
18:00～20:00 懇親会

11月24日(日)受付8:30

9:00～10:00 大会式典
10:00～10:30 中央情勢報告
10:30～12:00 記念講演
12:00～12:15 育成会大会宣言決議・
本人大会宣言
12:15～12:20 次回開催地挨拶(愛媛県)
12:20 閉会

■参加申し込み先・問い合わせ先

社会福祉法人福岡市手をつなぐ育成会事務局

TEL:092-713-1480 FAX:092-715-3561

全国手をつなぐ育成会連合会発行 情報・交流誌「手をつなぐ」購読のご案内

機関紙「手をつなぐ」購読ご希望の皆さまは本会事務局までご連絡下さい。

〇年間購読料

1□ 3,900円
(送料別)

※送料は受け取り先や
□数によって異なり
ますので事務局まで
お問い合わせ下さい。



知的障がい・発達障がい・ダウン症・てんかんのある方のために

特別支援教育を必要とされている方のための保険

ぜんちのあんしん保険

東京海上日動の個人賠償責任補償付

少額短期健康認合保険(無告知型 2016年創設)

こんな時に使えます

- 病気・ケガ・入院 最高日額1万円
- 虐待・差別を受けた 弁護士費用補償
- 他人のものを壊してしまった 個人賠償責任補償最高5億円

東京海上日動と提携 最高5億円 (総合生活保険 個人賠償責任補償)

引受け保険会社: 東京海上日動火災保険株式会社

せんちのこども傷害保険

東京海上日動の個人賠償責任補償付

複利複数補償付傷害保険(2016年創設)

こんな時に使えます

- 誤って物を壊してしまう…
- 日常生活でケガをすることが多い…
- トラブルに巻き込まれた際、誰も助けてくれない…

個人賠償責任補償最高5億円

入院・通院を日額保障

弁護士がサポート

ネット申込・年払・月払OK | クレジットカード払OK ※ネット申込のみ

福岡市知的障がい者相談員

区	氏名	TEL
東	高橋 宏子	662-1110
	廣松 博子	691-3149
	金森由美子	651-3354
	柴田 充子	632-8685
博多	田中 春子	571-0443
	春日 祥子	205-6789
	古川 直美	622-0163
	古川 荣子	573-3817
中央	佐久間美千代	722-2224
	久保田弘美	734-0554
	高原 勝利	516-4116
南	工藤 幸	090-6894-8749
	堀池 洋子	572-3771
	栗原 由美	562-8275
	溝口真奈美	561-6624
城南	八尋 悅子	865-4414
	五嶋 祐子	831-6215
	谷口 夏子	871-3593
早良	下山いわ子	846-8245
	伊良皆千鶴	843-9020
	中馬 勝子	851-6558
	永井 夏代	863-6720
西	向井 公太	080-1702-0618
	辻田 幸子	891-2326
	奥村 信子	892-6968
	盛田美代子	882-3248

現在、市内各区に26名の相談員の方が福岡市より委嘱を受けております。障がい児・者の日常生活上の様々な問題について、各区の相談員が相談に応じています。個人のプライバシーなどについては固く守るように義務づけられています。午後3時まで「ふくふくプラザ4階応接室3」で相談を受けています。

寄付のお礼

(令和元年7月～令和元年9月)

福岡ひまわりの里

藤瀬 三枝子 様

福岡ひまわりの里

寿樂園 ペン書道教室 様

早良ひまわりハウス

酒井 上村
井口 明世
明礼一 様 様 様
上村 雄一
明世 様 様 様
寿樂園 ペン書道教室 様
早良ひまわりハウス 様

ありがとうございました。
大切に使わせていただきます。

詳しい資料のご請求・お問合せは下記まで

※ご契約にあたっては必ず「ご契約に際しての重要事項」約款
東京海上日動の「重要事項説明書」をよくお読みください。

ご不明な点等がある場合には、ぜんち共済株式会社までお問い合わせください。

<代理店> 株式会社グッド・サポート

TEL: 092-263-6771

FAX: 092-263-6772

〒812-0037

福岡県福岡市博多区御供所町2-63

博多パルビル3F

・ ぜんち共済株式会社

ZENCHI 関東財務局長(少額短期保険)第14号

〒101-0032 東京都千代田区岩本町3丁目5番8号岩本町シティプラザビル5F

コールセンター

0120-322-150

ぜんち共済 URL http://www.z-kyosai.com/

[2017年12月作成 17-T08668]

